

令和7年度当初予算案の概要

長野県企業局

企業局では、「長野県公営企業経営戦略（令和3年3月改定 計画期間：令和3～7年度）」における基本目標である「水の恵みを未来へつなぐ」を具現化し、社会環境の変化や直面する課題に迅速かつ的確に対応するとともに、「しあわせ信州創造プラン3.0」を推進するための予算案を編成しました。

1 予算案の概要

【電気事業】

(1) 収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	7,174,674千円	5,866,107千円	1,308,567千円	122.3%
支 出 ①	6,393,607千円	4,918,965千円	1,474,642千円	130.0%
差 額 (損 益)	781,067千円 (265,662千円)	947,142千円 (△ 523,443千円)	— (789,105千円)	— (—)

(※)令和6年度の損失については、留保している利益積立金で補てんするため、繰越欠損金は発生しない予定です。

(増減の主なもの)

〔収入〕 大規模改修中の既存発電所及び新規発電所の運転開始に伴う料金収入の増	2,798,369千円
〔支出〕 発電所の運転開始に伴う減価償却費の増	927,209千円

(2) 資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	4,747,279千円	13,768,000千円	△ 9,020,721千円	34.5%
支 出 ②	8,433,691千円	18,008,837千円	△ 9,575,146千円	46.8%
建設改良費	6,046,362千円	16,921,943千円	△ 10,875,581千円	35.7%
差 額	△ 3,686,412千円	△ 4,240,837千円	—	—

(増減の主なもの)

〔収入〕 企業債借入額の減	△9,168,000千円
〔支出〕 美和発電所、春近発電所の大規模改修の完了等に伴う建設改良費の減	△10,875,581千円

支出総計①+②	14,827,298千円	22,927,802千円	△ 8,100,504千円	64.7%
---------	--------------	--------------	---------------	-------

主 要 事 業

脱炭素社会に向け、長野県の豊かな水資源を活かす水力発電により、「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化を図るとともに、電力の安定供給のため、未来に向けて積極的に投資します。

〔未来への投資〕

- 水力発電所の建設等の推進
 - ・ 新規電源開発（発電所建設）の推進 〔4,548,413千円〕
 新しい水力発電所の建設（越百のしずく以下6か所）
 新規地点の調査
 - ・ 基幹水力発電所等の大規模改修の推進 〔453,245千円〕
 大規模改修5か所（豊丘ダム以下5か所）

〔先端技術の大胆な活用〕

- AI・IoTを活用した運転管理のスマート化の推進 〔34,616千円〕
- 水素ステーションの実証 〔48,889千円〕

〔リスクマネジメント〕

- 地域連携水力発電マイクログリッド構築事業 〔9,900千円〕
 水力発電所の自立運転機能を活用した停電時の電力供給に関する実証

〔地域への貢献、地域との連携〕

- 市町村等の水力発電所開発支援 〔54,400千円〕
 新規電源開発等を計画する市町村等からの委託等により調査・設計・建設等の技術支援を実施
- 地域連携水力発電マイクログリッド構築事業（再掲） 〔9,900千円〕
- 水の恵みを未来へつなぐ交付金 〔46,420千円〕
 企業局の水力発電所所在市町村における先端技術を活用した地域課題解決に対する取組を支援
- 電気事業利益を活用した地域貢献（一般会計への繰出し） 〔273,500千円〕
 地方創生積立金、こどもの未来支援積立金からの繰出し

〔柔軟で俊敏な組織づくり〕

- 持続可能な経営のための戦略的な広報の実施（電気事業・水道事業共通） 〔29,287千円〕
- しごと改革・働き方改革の推進（電気事業・水道事業共通） 〔34,892千円〕

(3) 業務の予定量

項 目	令和7年度	令和6年度
発 電 所	26所	25所
最 大 出 力	109,289kW	105,051kW
年 間 販 売 電 力 量	395,042千kWh	267,294千kWh
料 金 収 入	6,615,815千円	3,817,446千円

【水道事業（末端給水事業及び用水供給事業）】

(1) 収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	5,702,289千円	5,667,561千円	34,728千円	100.6%
支 出 ①	5,379,434千円	5,412,789千円	△ 33,355千円	99.4%
差 額	322,855千円	254,772千円	—	—
(損 益)	(17,390千円)	(23,606千円)	(△ 6,216千円)	(73.7%)

(増減の主なもの)

〔収入〕 (末端) 工事負担金の減	△5,888千円
(用水) 消費税及び地方消費税還付金の増	39,407千円
〔支出〕 (末端・用水) 燃料調整費の減少による動力費の減	△36,157千円

(2) 資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	2,368,683千円	1,831,168千円	537,515千円	129.4%
支 出 ②	5,471,539千円	4,578,038千円	893,501千円	119.5%
建設改良費	3,746,625千円	2,891,683千円	854,942千円	129.6%
差 額	△ 3,102,856千円	△ 2,746,870千円	—	—

(増減の主なもの)

〔収入〕 (末端・用水) 企業債借入額の増	516,000千円
〔支出〕 (末端・用水) 施設・管路の老朽化対策に係る建設改良費の増	854,942千円

支出総計①+②	10,850,973千円	9,990,827千円	860,146千円	108.6%
---------	--------------	-------------	-----------	--------

主要事業

将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向け、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域化・広域連携の強化を図ります。

〔未来への投資〕

- 施設等の老朽化対策及び耐震化の推進 〔末端 1,933,167千円、用水 1,055,581千円〕
 - ・ 老朽化対策関連
〔末端〕 坂城第2ポンプ場 送水ポンプ更新工事、更埴調整池ほか計装設備更新工事等
〔用水〕 本山浄水場急速ろ過設備更新工事等
 - ・ 耐震化関連
〔末端〕 配水管布設替工事等
〔用水〕 本山浄水場排水処理施設耐震化工事、送水施設支線管路耐震管布設工事(床尾支線)等
- 施設のダウンサイジング 〔末端 33,000千円〕
〔末端〕 茶臼第一ポンプ場等を廃止し、犬石配水池系統に統合するための送配水管布設工事
- 豪雨・水質汚濁対策の推進 〔用水 60,000千円〕
〔用水〕 片平取水場機能強化対策(管理用道路拡幅)工事

〔先端技術の大胆な活用〕

- 水道施設の点検等へのドローンの活用 〔用水 10,780千円〕

〔リスクマネジメント〕

- 施設等の老朽化対策及び耐震化の推進(再掲)
- 豪雨・水質汚濁対策の推進(再掲)
- 応急給水拠点「安心の蛇口」の整備 〔末端 15,000千円〕
災害時でも水が飲める応急給水拠点を地域の避難所となる施設へ整備(3か所)

〔地域への貢献、地域との連携〕

- 関係市町村との広域化・広域連携の推進 〔末端 37,219千円、用水 5,500千円〕
安全で安心な水道水を安定して供給する「持続可能な経営体制」の構築に向けた水道事業の広域化・広域連携の推進

(3) 業務の予定量

項 目	末端給水事業		用水供給事業	
	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
供給区域	長野市、上田市、千曲市、坂城町		松本市、塩尻市、山形村	
給水戸数	81,193戸	80,948戸	—	—
年間総給水量	18,933千m ³	18,995千m ³	29,565千m ³	29,565千m ³
1日平均給水量	51,869m ³	52,039m ³	81,000m ³	81,000m ³
料金収入	3,625,719千円	3,624,081千円	1,443,954千円	1,443,954千円

(参考)

〔末端給水事業〕

・収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	4,151,079千円	4,155,050千円	△ 3,971千円	99.9%
支 出 ①	3,946,686千円	3,961,830千円	△ 15,144千円	99.6%
差 額 (損 益)	204,393千円 (11,572千円)	193,220千円 (12,400千円)	— (△ 828千円)	— (93.3%)

・資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,561,683千円	1,516,168千円	45,515千円	103.0%
支 出 ②	4,033,369千円	3,833,485千円	199,884千円	105.2%
建設改良費	2,504,093千円	2,335,889千円	168,204千円	107.2%
差 額	△ 2,471,686千円	△ 2,317,317千円	—	—

支出総計①+②	7,980,055千円	7,795,315千円	184,740千円	102.4%
---------	-------------	-------------	-----------	--------

〔用水供給事業〕

・収益的収支

(消費税込み、損益は税抜き)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	1,551,210千円	1,512,511千円	38,699千円	102.6%
支 出 ①	1,432,748千円	1,450,959千円	△ 18,211千円	98.7%
差 額 (損 益)	118,462千円 (5,818千円)	61,552千円 (11,206千円)	— (△ 5,388千円)	— (51.9%)

・資本的収支

(消費税込み)

区 分	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較	
			(A)-(B)	(A)/(B)
収 入	807,000千円	315,000千円	492,000千円	256.2%
支 出 ②	1,438,170千円	744,553千円	693,617千円	193.2%
建設改良費	1,242,532千円	555,794千円	686,738千円	223.6%
差 額	△ 631,170千円	△ 429,553千円	—	—

支出総計①+②	2,870,918千円	2,195,512千円	675,406千円	130.8%
---------	-------------	-------------	-----------	--------

- 注) 1 収益的収支は、主に営業活動に係る収入及び支出を表します。
また、支出額には減価償却費等の現金支出を伴わないもの(損益勘定留保資金)を含みます。
2 資本的収支は、主に設備投資に係る収入及び支出を表します。
なお、収入が支出に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。
3 損益は、収益的収支の差額から消費税相当額を控除したものです。

2 事業改善シート

県公式ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kigyo/kensei/soshiki/yosan/r7/r7yosanankigyo.html>